



近畿大学附属
広島高等学校東広島校

同窓会報

第
18
号



発行 近畿大学附属広島高等学校東広島校 同窓会事務局 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺2番 | e-mail: dousou@hh.kindai.ac.jp | HP: https://hh.kindai.ac.jp/graduate/



ホームカミングデー



みなさん、母校・近大東広島を卒業して以来、学校に遊びに行ったことはありますか。8月のお盆期間に、同窓会主催の初のホームカミングデーを開催しました。当日は、同窓会にて様々な企画を用意させていただきました。本校の歴代の制服・体操服や、卒業アルバムと文集「わすれな草」を1期生からすべて展示、また、文化祭の懐かしい映像展示など、校舎を回りながら懐かしい青春時代を思い出せる企画を準備してみました。来場されたみなさん、いかがだったでしょうか。たくさん先生方も参加してくださり、卒業生たちも先生との再会を喜ぶとともに、思い出話と近状報告で盛り上がっている姿を見ることができました。また、バスケットボール部ではOB・OG戦も行われ、学年を超えた部活動

での繋がりを感ずることができました。今回は例年行なわれている総会とは違い、昼の時間帯のイベント開催だったこともあり、お子さま連れで来校された方も多く、いつもとは違った学校の雰囲気となり、ご家族の微笑ましい姿や、旧友との再会を喜ぶ姿など、多くの方に楽しんでいただけたのではないかと思います。ここ数年のコロナ禍で様々なイベントが中止や縮小されていますが、同窓会ではこのようにみなさんと母校・近大東広島を結び楽しいイベントをまた企画できればと考えています。今回はイベントの案内が直前になってしまったこともあり、残念ながら参加できなかった方もいらっしゃるかと思います。是非また次のイベントで足を運んでいただければと思います。

第8回 同窓会総会・懇親会

2022年12月29日(木)開催! | 同窓会公式SNSにて詳細を更新します!▶



名誉会長より

名誉会長(校長)
橋本 晃一



同窓会員のみなさん、こんにちは。校長の橋本です。

令和4年度は中学校425名(男子218名、女子207名)、高校696名(男子387名、女子309名)の合計1121名でスタートしました。昨年度が1050名(2年前は約1000名)だったので、中高合わせて約70名も多く新入生が入学してくれました。こうして本校がますます発展しているのも、在校生のみなさんが楽しく学校生活を送り、また同窓会員のみなさんが大学生、社会人として活躍しながら、本校を応援してくれているおかげだと感謝しています。

学校は今年も“Aim for a Higher Level!(より高いランクをめざそう)”をモットーに頑張っています。最近はこのフレーズもずいぶん定着しており、生徒たちも使ってくれるようになりました。本当にいいモットーだと思うので、みなさんもぜひ覚えてください!

一方今年もコロナ禍ですが、ウィズ・コロナという方針で、出来るだけ生徒の思い出作りを積極的に行うようにしています。近校祭(テーマ:i~想像を越える~)も4月に体育祭を無観客で、9月に文化祭を規模を縮小して実施することが出来ました。そして今年も同窓会主催で、夏のお盆休みの期間を利用して「ホームカミングDay」

を開催していただき、たくさん同窓生やそのご家族が本校に遊びに来てくれました。懐かしい校舎で同級生、先輩・後輩や恩師の先生方と交友を深めていただけたことと思います。

さて、日ごろから会長様をはじめ、同窓会員のみなさんには本当にたくさんのご支援をいただき、深く感謝しています。今後もみなさんが、本校の卒業生として誇りを持ってもらえるような学校づくりを目指していきます。



また生徒や保護者の意見も大切にしておき、今年の新たなトピックとしては、通学カバンにトートバッグを追加導入したり、サマーセーターをオプションで採用しました。これがなかなか機能的かつスタイリッシュで好評です。次年度はどんな新しいアイデアが生まれてくるか、本当に楽しみです!同窓会員のみなさんも、またチャンスがあれば遠慮なく本校に足を運び、母校の発展していく姿を見ていただきたいと思います。今後とも「近大東広島」を、どうぞよろしくお願いいたします!

同窓会会長より

同窓会会長
西廻 知史
(5期生)



日頃は、本同窓会の運営に深くご理解、ご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。同窓会会員は令和4年3月に新たに192人の同窓生を迎え、現在では4815人となり、日本はもとより世界各地の様々な分野で活躍しております。

新型コロナウイルス感染拡大も今年で3年が過ぎようとしています。少し収まったと思うと、変異株の出現等により、感染拡大、減少を繰り返し、一進一退を繰り返しています。こういった状況の中、私たちのライフスタイルにも大きな変化がありました。学校ではオンライン授業、職場では対面が普通であった仕事・会議はテレワーク・オンラインミーティング等が一気に普及しました。以前からも普及していた電子マネーやネットショッピングやネット映画等は、変化が目まぐるしい競争市場となっています。今後は、メタバース(仮想現実)の発展があげられており、社会構造の変化がもたらされていくことでしょう。

一方で、私自身はリアルの世界で人と人が対面でふれ合うことにより、つながりを感じることを好む人間です。リアルの必要性とは、自分の居場所を見つけることができることだと思います。それは家族・友達・学校・会社等の様々なケースで言えることです。

自分の居場所を見つけるために、様々な人と関わり、自分の肌感覚を知ることがリアルの価値ではないのかと思います。自分の居場所を色々な場所で自らみつけ、そこから能力を発揮することが自分を高めることになると思います。

今後望むことは、新型コロナウイルス感染拡大が収束し、人々がマスクをしない生活に戻り、気兼ねなく仲間と肩を寄せ合い、お酒を飲み、食事をとり、大いに語りあいたい。それも、私の居場所のひとつです。

本年は同窓会総会・懇親会の開催年です。年末にはしっかりと感染対策を施したうえで、同窓会総会・懇親会をリアルで開催していく方向で準備しています。そして、旧友との懐かしい居場所、新しい同窓との出会いで新たな居場所づくりを一緒にしてきましょう。

開催できましたら皆様のご参加をお待ちしております。

同窓会より母校に車いすを寄贈



令和4年6月、本校同窓会より、車いすを2台寄贈いたしました。当日は西廻同窓会長から橋本校長への贈呈式を行いました。母校・近大東広島の生徒数は、開校当初から比較すると何倍にも増えています。緊急時の備えとして、怪我や体調不良などの生徒のために、大切に使用していただきたいと思います。

教育実習を終えて



【写真左から2人目】

安田女子大学 池本 美優 (21期生)

私が教育実習で学んだことは、教師とは教えるだけでなく、生徒から教えてもらう職業でもあるということです。実習中は、授業やホームルームなど生徒の前で話す機会が幾度となくありました。そのたびに、生徒の知識や言葉の裏を読む力を実感しました。実際に、授業で「膝下」という漢字を「ひざした」と読んだ際、「っか」と読む場合もあると教えてくれた生徒がいました。漢字一つにおいても、探究心を持ち、その時必要な意味や使い方を取捨選択できる生徒の存在には、

驚くと同時に刺激をもらいました。私は、授業とは、生徒に身に着けて欲しい力を教師が教えていく時間だと思っていました。しかし、この度の実習を終え、授業とは、教師と生徒の双方の学びの場であると考えが変わりました。「授業をつくるのは生徒だ」という先生方のお言葉を身に染みて感じる三週間でした。中高6年間を含め、学びのある時間を近校で過ごせたこと、心から嬉しく思います。誠にありがとうございます。

生え抜き！開校時を支えてくださった先生 ～創設メンバーコメント～

- ① …開校当初の思い
- ② …今後の思い

橋本 晃 先生

① 開校当初は3教室×3階だけのL字形校舎で、体育館もグラウンドもありませんでした。1期生は3クラスで職員室に先生はたったの6名。あれから四半世紀、施設設備はどんどん立派になり、先生方も専任だけでも50名を超えています。

② 今後も近畿大学と連携し、地域からも愛され、生徒のみなさんが卒業した後も誇りを持って「近大東広島」の卒業生です！と胸を張り、また遊びに帰ってきてくれるような学校にしていきたいと思っています。

梶森 ちづる 先生

① 私は二年目から東広島校でお世話になっていますが、当時の二日連続で文化祭体育祭を開催し、夜中まで準備をしていたころを懐かしく思い出します。

② 今では、卒業生の子供も達が母校に入学してくれる学校になり、何よりありがたいことです。「近校」が卒業生の力を借り、さらに成長していくことを願っています。

竹内 健 先生

① 教員1年目が開校1年目というめぐり合わせを今考えると貴重ななと思いますが、当時は業務に追われる毎日でした。勉強熱心な生徒が多く、生徒と一緒に学校を創っていきこうと思っていました。

② 進学実績とともに、近年はクラブや探究などで生徒が活躍をしています。開校して20年以上たちましたが、まだまだ「伸びしろ」がある学校です。同窓生が応援してくれる母校になるように取り組んでいきます。

八幡 昌幸 先生

① 開校したはいけれど何もかも手探りだった1期生。グラウンドや体育館がなかったため空き地を探して体育の授業をしたり部活したり。今では考えられない環境でしたが、バイタリティあふれる素敵な生徒たちでした。「この子たちを不幸にしたらいけない」という思いで、何とか知恵を絞って過ごしていました。

② コロナ禍で様々な活動が制限されたりしていますが、その中でも「遊び心」を忘れず、今しかできないことに自ら挑戦しながら近校での青春を謳歌してください。特に近校祭では思いっきり弾けてほしいと思います。

生藤 香織 先生

① 私の教員人生は、近校の開校とともにスタートしました！こんな経験はめったにできないことですし、もちろん不安もありましたが、毎日とてもわくわくしていました。

② 近校に戻ったとき、いろいろなことによる懸念を取り組む生徒の姿は、以前と変わらないなと思いました。みんなの頑張りにより、少しでも力になれるよう、私も努めていきたいと思っています。



卒業生より

武藤 舜 (24期生)

こんにちは、24期生の武藤舜と申します。現在私は、広島大学医学部医学科に通っています。新型コロナウイルスの影響でオンラインでの授業が多くなっていますが、数少ない対面授業を活用して友達を作り、楽しい大学生活を過ごしています。医学部生のサッカー部にも所属しており、限られた範囲の中ではありますが部活動をしたり、ご飯を食べに行ったりできるようになりました。そして県外出身の友達や先輩の話聞き、今まで知

らなかったいろいろな知識や物事を吸収しています。現在はまだ医学の専門的な内容は勉強していないのですが、医師になるために教養を蓄え、医療倫理や医療行動などについて学習することで、医師になるのだということを実感しています。来年から解剖実習が始まり、より医学の専門的な学習ができるので、とても楽しみに思っています。私の学年も残念ながら、新型コロナウイルスの蔓延により修学旅行や球技大会、体育祭などの様々な行事が規模の縮小や中止となるなどの影響を受けました。そんな中でも近校での生活を楽しむことができたのは、部活動と学業の両立ができていたからだだと思います。そして両立ができていたのは、近校の先生方のおかげです。

高校2年生まで部活動で朝練をして、放課後の練習にも毎日出席をしつつ、学業の面でも学年でトップを争うことができました。高校3年生からは部活動を引退し、スポーツドクターになりたいという夢を実現させるため、勉学に励みました。先生方が真摯に向き合ってくれ、夢を追い求めることができたため、医学部医学科の合格が嬉しいです。近校はこのように夢を追い求めることができる学校なのだと感じました。大学では6年間の近校での生活で学んだことを生かして勉学に励みつつ、今まで経験したことがなかったことにチャレンジしていきたいと思っています。そして大学での知識をつけ、将来医師となって社会に貢献していきたいです。

卒業生講演会

卒業生による広島大学学部説明会



令和4年7月に、高校3年生の希望者を対象に、広島大学工学部第三類の助教である斎藤慎彦さん(7期生)が、学部・学科説明会を開催してくださいました。今年だけではなく、数年前から毎年学生募集を兼ねて学校で説明会を開いてくださっています。高校時代は陸上部で活動していた斎藤さん。このような形で在校生と卒業生の繋がりができるのは、非常にうれしいことです。説明を聞き、研究職への夢を抱く生徒も多いそうです。

ケニアと日本でオンライン座談会



令和4年3月に、沓脱巴菜さん(6期生)のご協力のもと、国際協力や海外で働くことに興味のある在校生たちを対象に国連の仕事やケニアのスラム事情などについてお話を聞くオンライン座談会が開催されました。現在、沓脱さんは国連世界食糧計画(WFP)に勤務されており、同僚の方のお話や、ケニアのスラム街で生まれながらも、多くの支援を受けて現地の大学に通うケニア人の方の生の声を聞くことができました。コロナ禍で実際に海外に行くことが難しくなっていますが、卒業生のみなさんのご協力のもと、在校生たちがオンラインで多くのことを学ぶことができています。

現役大学生、在校生にエール



現在近校ではコロナ禍の影響でかつて春休みや夏休みに行われていた学習会のようなイベントが開催できず、学校での小規模な学習会が行われています。そんな在校生たちにエールを送ろうと、春休みに行われた学習会には現役の大学生たちがたくさん集まってくれました。グループに分かれて大学生活や受験勉強のアドバイスなどを親身になって在校生に伝えてくれました。在校生たちもたくさん刺激をもらえたようで、その後も意欲的に学習会に臨まれていました。

近畿大学附属広島高等学校東広島校同窓会・会則

第1章 総則

- 第1条 本会は近畿大学附属広島高等学校東広島校同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の親睦をはかり、母校発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 - 1. 同窓会会員名簿の発行
 - 2. 同窓会誌の発行
 - 3. その他本会の目的を達成するために必要な事項
- 第4条 本会は本部並びに事務局を母校に設置する。また必要に応じて支部を地域あるいは職域に設けることができる。

第2章 会員

- 第5条 本会は通常会員と特別会員をもって組織する。
 - 1. 通常会員
 - ① 近畿大学附属福山高等学校東広島校舎、近畿大学附属東広島高等学校及び近畿大学附属広島高等学校東広島校の卒業生
 - ② 前項の学校に在籍したもので幹事会の議を経た者。
 - 2. 特別会員
 - 母校の教職員及び母校教職員であった者。
- 第6条 本会の通常会員は入会に際し終身会費を納入しなければならない。その金額及び納入方法は別に定める。
- 第7条 第3条の事業を行うために必要あるときは、幹事会の議を経て、臨時会費及び、寄付を募めることができる。

第3章 役員

- 第8条 本会に次の役員を置くこととする。

名誉会長 (母校学校長を推薦する)	
会長 1名	副会長 2名
幹事長 1名	事務局 1名
書記 2名	会計 2名
会計監査 若干名	幹事 若干名

本会に顧問、相談役及び参与を置くことができる。また必要に応じて委員会を設けることができる。
- 第9条 会長、副会長、幹事長、書記、会計及び会計監査は、名誉会長が任命する役員選考委員会により選出し、総会の承認をもって決定する。
- 第10条 幹事は、会長、副会長及び幹事長により選出する。顧問、相談役及び参与は会長が委嘱する。委員会の委員は会長が委嘱する。
- 第11条 役員任期は2カ年とする。ただし名誉会長、顧問、相談役及び参与はこの限りでない。また役員の再任は防げないものとする。
- 第12条 会長は本会を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に支障あるときはこれを代行する。幹事長は会務を処理する。書記は本会の事務処理及び議事録の作成・管理に努める。会計は会計事務を処理する。会計監査は本会の会計を監査し、その正否を定時総会に報告する。事務局は事務局の運営を処理する。
- 第13条 名誉会長、顧問、相談役及び参与は会務の諮問に応ずる。第14条 委員会は会長の諮問に応じてその会務を処理する。

第4章 会議

- 第14条 定時総会は会務の報告及び会員相互の親睦を図るために3年に1回開催する。予算承認委員会は定時総会を開催しない年度において1回開催する。次の事項はその定時総会または予算承認委員会において承認を得なければならない。
 - 1. 前年度の決算及び事業報告
 - 2. 新年度の予算及び事業計画
 - 3. その他の必要と認められる事項
- 第16条 幹事会は本会の運営を協議するため、必要に応じて開催する。その召集は会長が行う。
- 第17条 会議の議決は出席者の過半数をもって決する。
- 第18条 会議の議長はその会議において選出する。

第5章 会計

- 第19条 本会の運営は終身会費、寄付、その他の収入によりこれを行う。
- 第20条 本会の会計並びに事業の年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章 支部

- 第21条 支部の設置に関しては幹事会の承認を得なければならない。
- 第22条 支部に事務所を設け、役員を置くことができる。

第7章 会則の変更

- 第23条 本会則は総会において出席者の2/3以上の同意を得なければならない。

附則

- 本会則は平成11年4月1日より施行する。本会則の施行に関する細則は会長が別に定める。本会則の改正は平成19年12月29日より施行する。本会則の改正は平成20年8月15日より施行する。本会則の改正は平成25年12月28日より施行する。本会則の改正は平成28年12月29日より施行する。

個人情報保護方針 (プライバシー・ポリシー)

- 1. 同窓会 (以下、本会) は本会が保有する個人情報について「保護規定」を遵守し、個人情報を適切に保護します。
- 2. 個人情報保護の責任管理者を置き、「保護規定」の実施、維持、継続的改善に努めます。
- 3. 提供いただいた個人情報の利用、及び提供は本会の業務に必要不可欠な範囲内に限定し、第三者に提供、開示等は一切いたしません。
- 4. 個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を遵守します。

近畿大学附属広島高等学校東広島校同窓会

※本会活動の範囲内で第三者提供においても同意できない方はお申し出ください。